

# 音楽と珈琲のいい関係



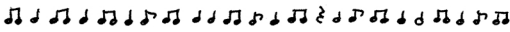
荒田珈琲  
新聞  
Vol.85

2024.10.30(木)

通りすがりのレトロな純喫茶にて。入口脇に「今日は小柳ルミ子の日」と書かれた黒板が立ててありました。なるほどその日のBGMは小柳ルミ子さんオンリーなのでしょう。好きな人は立ち寄りたくなりそうです。時を経て昭和歌謡や70~80年代のシティポップが再ブレイクしているように、若い世代の人にとっては新しい音楽との出会いになるかもしれません。それほど若くない店主とユメにしても、ルミ子さんは未体験の懐かしです。

BGMといえば、荒田珈琲で流れている音楽についてご質問いただくことがあります。その日の天気や時間帯、過ぎされるお客さまの雰囲気などで忙しくならないテンポの曲をかけており多いのはジャズとボサノバです。以前新聞38号「BGMに関する考察」でも触れたことがあります。ヴォーカル、ピアノトリオ、アコースティックギター、たまに60~70年代洋楽などなど。

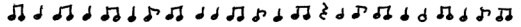
くつろぎの珈琲時間に音楽の力を貸してもらっている気がしています。心地よい曲が届いたら流れる音色に耳を傾けてみてくださいね。



一方、開店前と開店後には懐メロから最新のヒットチャートまで(今日の流行りを学ぶため…笑)新旧の洋楽邦楽がごちゃ混ぜにかかっています。

先日は仕込み中に小林明子さんの「恋におちて - Fall in Love - (1985年)」が流れてきました。道ならぬ恋に身を焦がす女性目線の名曲ですね。これが久し振りに聴いたら妙に沁み入りました。サゼの「ダイヤル回して手を止めたあ〜♪」の美しいアフレットが切ない…!!

と、ここで脳裏に蘇るのは当時の電話事情。



好きな人へダイレクトにつながる携帯メールもラインもありませんでした。ダイヤル式の黒電話をジ---コジ---コ回します。高性せぼダイヤルが戻ってあなたの「家」に繋がってしまうから、途中で手を止めて遊巡るので。Fall in Loveのため息が聞こえてきそうないじらしいシチュエーションが昭和時代らしいなあとしみじみ感じ入りました。一人一台の電話がなかった頃は約束の時間に家電話の前で待ち構えたり、気難しい

お父さんお母さんが出ると、とっさに間違ひ電話のフリをしたなんて方もいらっしゃるのでは!? 脱線しましたがつまるどころ、音楽、っていいもので日々欠かせない存在です。11月もよろしく願います!

## モノ図鑑 #7 ワイヤレススピーカー



小さな見かけによらず幅広い音域をクリアに再生できる実力者です! Bluetoothでスマホと接続できる手軽さ。木棚に乗せてあると音が伝わりやすく「ここから鳴っている!?!」と驚かされることも!

秋のおいしさを召しあがれ!

秋冬限定のスイーツが登場しています。どれも珈琲に合う味わいに仕上げました。一期一会をお楽しみに!

## 11月のスケジュール



お休みレギュラーにご注意ください  
4(月)・5(火)・11(月)・  
18(月)・19(火)・20(水)・25(月)